

事務事業名	経営健全化事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	経営戦略室	経営戦略係	石川 正道

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標		いつでも必要な医療が受けられる		
	めざす成果		市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
根拠法令	名 称	地方公営企業法			
		医療法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)				
市立病院の経営		31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）	
	事業費	20,794	20,682	22,817	
	人件費	11,840	11,890	19,321	
目 的	総事業費	32,634	32,572	42,138	
・医療サービスを継続的に提供します。 ・病院事業の収支均衡を目指します。	3年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金	0		
手段、手法【実施手法：直営】 ・良質な医療サービスを提供することにより、診療単価を上げて診療収益の増収を図るとともに、費用の削減にも努めていきます。		県支出金	0		
		市債	0		
		その他	22,817		
		一般財源	0		
		合 計	22,817		
3. 活動内容					
活動指標 1	名称	単年度の収支			単位 千円
	内容説明	損益勘定の収入－支出			
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定	0	△472,699	△344,521
		実 績	△359,290	127,847	－ － －
成 果（効果・予測） いつでも安心して治療を受けることができる基幹病院として機能することです。	名称	診療科代表者会議の開催			単位 回
	内容説明	各診療科の代表者を対象にヒアリング			
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定	48	36	48
		実 績	41	24	－ － －
課 題	名称				単位
	内容説明				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定			
		実 績			－ － －
良質かつ適正な医療サービスを提供すると同時に、累積欠損金を解消していくことです。	名称				単位
	内容説明				
	指標値		31年度	2年度（当該年度）	3年度
		予 定			
		実 績			－ － －

5. 評価結果				
市の関与の妥当性	評価結果			市が関与する必要性があるか。
	30年度	31年度	2年度	A：市が関与する必要性が高い。
	A	A	A	現在、地方公営企業法の一部適用として運営しているため、市が関与する必要性が高い状況です。なお、総務省は新公立病院改革ガイドラインにおいて、公立病院の経営形態の在り方として、地方独立行政法人化や指定管理なども選択肢として検討するよう提示しています。
事務事業の成果	評価結果			さらに成果を上げるにはどうしたらよいか。
	30年度	31年度	2年度	C：成果を上げる余地が多くある。
	C	C	C	不採算医療等への繰入金を除き、自主自立した病院経営を目指すため、経営改善の余地があります。
事業費・人件費	評価結果			事業費、人件費は適正か。
	30年度	31年度	2年度	B：経費を節減できる余地が一部ある。
	B	B	B	不採算医療等への繰入金を除き、自主自立した病院経営を目指すには、経営改善の余地があります。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	31年度	2年度	A：受益・負担は適正である。
	A	A	A	診療報酬は公定価格のため、受益負担は適正です。
社会的配慮	評価結果			市民参加、情報提供、ユニバーサルデザインへの対応、環境負担軽減に向けた取り組み4点について十分に行ったか。
	30年度	31年度	2年度	A：社会的配慮を十分に行っている。
	A	A	A	市民参加手続きや情報提供など、必要に応じて行っています。

事務事業名	出納事務			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	経営戦略室	経営戦略係	石川 正道

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	基本目標		人の健康・いつまでも元気でいられるまち		
	個別目標		いつでも必要な医療が受けられる		
	めざす成果		市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
根拠法令	名 称	地方公営企業法			
		医療法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
					設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費 (単位：千円)			
市立病院利用者、金融機関及び債権者（請負業者等）			31年度（決算額）	2年度（決算額）	3年度（予算額）
		事業費	31,910	31,739	35,016
		人件費	17,760	17,834	17,834
目 的		総事業費	49,670	49,573	52,850
適正かつ的確な収入・支出事務を行うことにより、市立病院の健全で安定的な経営につなげます。		3年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
			県支出金		0
			市債		0
			その他		35,016
			一般財源		0
			合 計		35,016
手段、手法【実施手法：直営】					
病院の収入及び支出を財務会計システム処理することなどにより、収入額を適切に把握するとともに、支出事務においても審査から支払い手続きまでの処理を的確に行うなど、収支状況の適切な管理を徹底します。		活動指標1	名称	収入・支出命令書等の確認・審査	単位 件
			内容説明	支出負担行為書・支出命令書等の伝票審査件数	
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
				予 定	21,000
成 果（効果・予測）		活動指標2	指標値	21,484	20,443
				実 績	――
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
				予 定	――
課 題		活動指標3	指標値	21,484	20,443
				実 績	――
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
				予 定	――
公営企業として財務の一部適用をしていることから、複式による会計処理となっており、的確な知識をもつことが求められます。		活動指標4	指標値	21,484	20,443
				実 績	――
			指標値	31年度	2年度（当該年度）
				予 定	――

4. 今後の方針等

今後の方針等	30年度	I：現状のまま継続	31年度	I：現状のまま継続	2年度	I：現状のまま継続
	適正な執行がされるよう、適切な審査を行います。					